



Title	ヨーロッパ超域研究 6 投稿規程／奥付
Author(s)	
Citation	ヨーロッパ超域研究. 2025, 6, p. 55
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/102473
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

『ヨーロッパ超域研究』投稿規定

A 投稿原稿について

1. 原稿の種類は論文、研究ノート、翻訳、書評、新刊紹介、その他学術・研究・教育活動の報告とする。
2. 複数の原稿を投稿できるものとする。
3. 未発表のものに限るが、学会・研究会等における口頭発表にもとづくものは可とし、その旨を原稿中に明記する。
4. 広くヨーロッパの言語、文化、芸術、文学、歴史、社会に関わる事象を扱うものとする。
5. 執筆言語は日本語もしくはヨーロッパの言語とする。
6. 論文の分量はA4で10ページ程度を目安とするが、執筆者の判断に任せる。
7. 論文以外の原稿については、分量の目安は設けない。

B 執筆申込について

1. 執筆資格を有する者は、大阪大学大学院人文学研究科に所属する専任教員、兼任教員、発行年度の非常勤講師、大学院生（過去に在籍していた者を含む）、研究生とする。ただし、編集委員会の審議を経て適当と認められた者をこれに加えることがありうる。
2. 執筆申込は発行年度の12月末日までに行う。氏名、原稿の種別、タイトル（仮のものでも可）を編集委員会に届け出ること。
3. 執筆料は徴収しない。

C 編集委員会について

1. 編集委員会は、原稿の募集、受理、掲載可否の決定および編集を行う。
2. 編集委員会は、大阪大学大学院人文学研究科に所属する専任教員をその構成員とする。
3. 編集委員長は、委員間の互選により原稿募集の時期までに決定する。

D 原稿の提出について

1. 原稿提出は発行年度の3月上旬頃を期日とする。
2. 原稿はWordファイルとPDFファイルの両方を提出すること。
3. 提出後に書式の変更・修正を編集委員会が執筆者に依頼することがある。
4. 原稿料は支払わない。

E 掲載可否の決定について

1. 論文の場合、編集委員2名（当該論文の執筆者を除く）が査読を行い、掲載可否を判断する。その判断にもとづき、原稿の修正を編集委員会が執筆者に依頼することがある。
2. 論文以外の場合、編集委員長が内容を確認し、適当と認めたものを掲載する。

3. 日本語以外の原稿については、編集委員会が適当と認める当該言語の専門家に、査読もしくは内容の確認を依頼することがある。

F 発行について

1. 発行は当該年度の3月下旬頃に行う。
2. 執筆者に若干の部数を配布する。
3. 抜き刷りは作成しない。

G その他

1. 執筆申込者および申込予定者は、編集委員会が年間を通して定期的に開催する会合に任意で出席し、研究の進捗状況についての報告や相互の情報共有を行うことができる。
2. 執筆申込者および申込予定者から、原稿の提出に先立ち口頭発表の希望があった場合、編集委員会がこれを認め、研究会を開催する。

執筆者紹介

中 川 裕 之 (なかがわ ひろゆき) 大阪大学大学院人文学研究科外国学専攻教授

篠 原 学 (しのはら まなぶ) 大阪大学大学院人文学研究科外国学専攻准教授

川 口 正 通 (かわぐち まさみち) 大阪大学大学院人文学研究科外国学専攻准教授

上 田 直 輝 (うえだ なおき) 大阪大学大学院人文学研究科言語文化学専攻 D4

外国学共同研究プロジェクト 2024

ヨーロッパ超域研究 6

2025 年 3 月 30 日発行

編集発行者 大阪大学大学院人文学研究科外国学専攻